

# Miura Systems P2PE presentation

22<sup>nd</sup> June 2018

Prepared and Presented by:

Mark Chapman - ASPAC Sales Director  
Shinichi Yoda - Client Delivery Director Asia

# Welcome Statement:

Miura Systems has been working with the Japanese payments market since December 2013. We are very privileged and honoured to have established a great representation with the Japanese payments community of both customers and partners

Miura Systems would like to acknowledge the JCDSC PCI DSS Security Forum for this opportunity to present at this event.

In addition, Miura would also like to thank NetMove Corporation for their partnership in achieving a certified P2PE V2 solution for the Japanese marketplace.

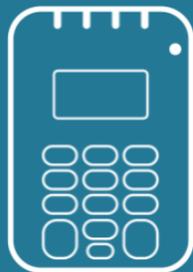
# Contents (ご説明内容) :

- Overview of Miura Systems (会社概要)
- Miura's View - Why P2PE? (弊社見解 - なぜP2PE?)
- P2PE V2 - Why Now? (P2PE V2 - なぜ今?)
- Miura's P2PE Payment Solutions (弊社P2PE決済ソリューション)

# 会社紹介

|         |  |
|---------|--|
| 会社名     | Miura Systems Ltd.   |
| 事業内容    | <p>弊社は安全で革新的な電子決済端末を製造する、海外で急速に成長している英国企業です。当社のコアコンピタンス（強み）は、ペイメント業界で定められる厳格な仕様に沿った端末の設計、認定、製造です。</p> <p>また弊社は、独立系ソフトウェアベンダおよびシステムインテグレータと提携し、世界中の小売店、ホテル、金融機関、輸送業の市場において豊富で柔軟な支払いソリューションを提供しています。</p> |
| 設立年度    | 2008年 本社 Miura Systems Ltd.<br>2016年 日本法人 Miura Systems株式会社  |
| 本社      | 3 Cliveden Office Village, Cressex Business Park, Lancaster Rd, High Wycombe<br>HP12 3YZ, UK   |
| 日本法人    | 東京都新宿区西新宿1-20-3 西新宿高木ビル8階  |
| その他オフィス | 米国: 9690 Deereco Road, Suite 500, Timonium, Maryland 21093, USA  |

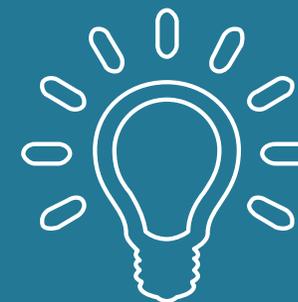
# Who we are and our capabilities (弊社取り組み)



- ✓ mPOS端末のグローバルリーダー
- ✓ 2008年創業以降専属ベンダーとして事業展開



- ✓ 世界各地での展開
- ✓ 40か国以上で170万台の出荷実績



- ✓ EMV/NFCの高い知識
- ✓ mPOS端末として初めて電マネ決済（FeliCa）での商用利用
- ✓ mPOS端末で初めてP2PE V2認定取得（2016年10月）

急速に進化するペイメント環境に応じた決済端末を提供

# Who we work with / グローバルパートナー



Miura Systems - enabling partners globally –  
世界中のお客様とパートナーシップを構築

# Miura's View - Why P2PE?

P2PEの特にV2（モジュラー）プログラムは、世界中の様々な規模の加盟店に新しい決済基準の導入機会を与えるものです。

日本においては2020年での「国際水準のセキュリティ環境」の整備を目指し、クレジット取引に関わる事業者、経産省が参画するクレジット取引セキュリティ対策協議会の「実行計画2017」でも、引用されるプログラムです。

P2PE V2とモジュラーアプローチはなぜ重要？

- ▶ 決済サービスを行う企業がコンポーネント毎の認証を受ける煩雑さを排除
- ▶ P2PE認証ソリューションを提供するため、企業は自社のコアとなる強みに集中可能
- ▶ 多くの企業は各社の強みを組み合わせることで、より大きな競争力、専門知識、価値を市場にもたらしめます
- ▶ 企業は機密性の高いカード保有者のデータを、複雑化せずより容易に管理可能
- ▶ 市場投入までのスピードを短縮
- ▶ コストや組織規模に因り高度なセキュリティとコンプライアンスの妥協は不要

P2PEは既存概念の障壁を破るもので、弊社はこのアプローチに沿った支援を小売業の全てのレベル/業種にご提供します。また提携先のNetMove社と共に、P2PEを導入される加盟店にシンプルな多くのアプローチが提供できます。

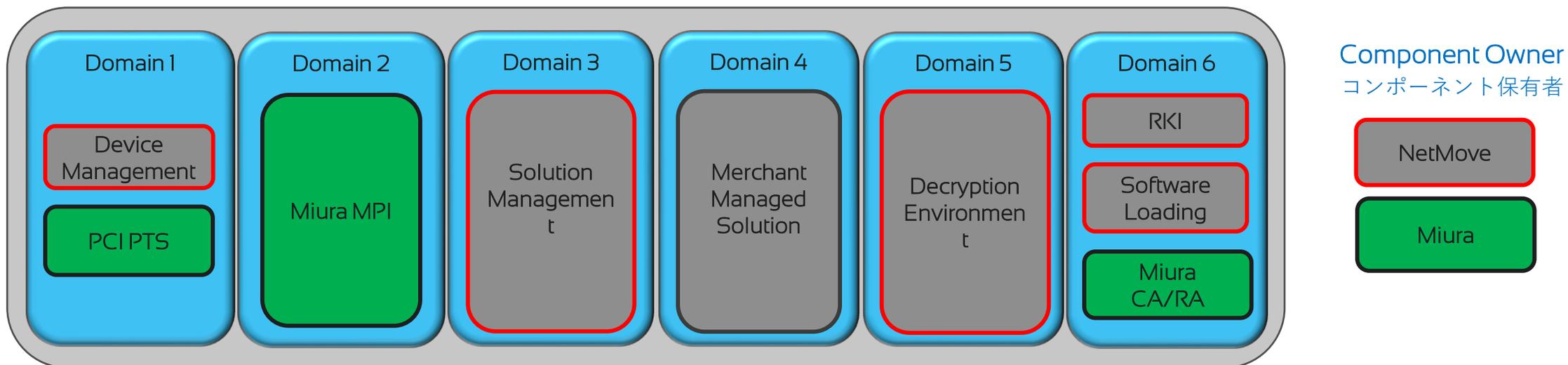


# P2PE V2 Certification

Miura certification covers:

- our MPI, our common payments interface used across our range, as a P2PE certified application of Domain 2  
(Domain 2 Application - 弊社の共通決済インタフェース“MPI”)
- Miura have certified our certification/registration architecture of Domain 6. We are therefore listed as a P2PE component provider  
(Domain 6 Certification/Registration Architecture – 弊社はP2PEコンポーネントプロバイダとして掲載)

## P2PE Domains 1 - 6



The above collaboration between NetMove and Miura provides the full P2PE solution  
(Netmove社と弊社の両認定済製品・サービスで完全なP2PEソリューションをご提供可能)

# P2PE V2 – Why Now?

## 日本の決済市場の変遷

- 2020年クレジットカードの100%IC化, 決済端末の100%IC化 – チップ・アンド・ピンへの移行
- QRコード決済の台頭 – ALIPAY、WeChat Pay、楽天ペイ等
- FeliCaとNFC非接触EMVのコンバージェンス
- ラグビーワールドカップや東京2020などのイベントでも観光客数が増加



加盟店や決済事業者は、新しい決済の導入とサービス展開を考える上でセキュリティは引き続き重要

P2PE V2を準拠することで柔軟かつ堅牢な決済サービスを容易に構築

MiuraとNetMoveのP2PE V2ソリューションは、コアコンポーネントを活かし新しい決済を後からでも追加可能。事業成長に合わせた機能拡張にあたり、複雑さとコストの削減を実現。



# P2PEエコシステムを構成可能な弊社製品

中規模～大型リテール店舗に最適で柔軟な製品ラインナップ – 新製品 M020



**mPOS (M020) – 上級**  
エンタープライズまで使えるmPOS端末



**リテール**  
据置端末としての利用



**モバイルターミナル**  
一般的なプリンター一体型モバイル (PED) やスタンドアロン端末



**ホスピタリティ**  
予備バッテリー搭載の端末とスマートフォンを持ち運ぶスマートケース



**販売機会の支援**  
待ち行列の対応と次世代バーコード決済



**高速充電器**  
リテール、接客業向け充電器



**4G/LTE モバイル**  
4G/LTE SIMを用いたモバイル決済

## 小規模店舗環境向け製品

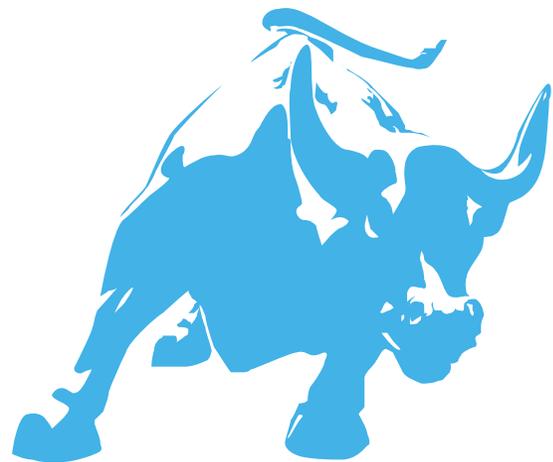


**mPOS (M010-F) – 中級**  
マイクロマーチャントからリテール向け。非接触EMV, FeliCaまでサポート



**mPOS (M006) – エントリー**  
マイクロマーチャント向けmPOS端末

Thank you on behalf of



**MIURA**  
SYSTEMS